

科目名	保育の心理学 I	担当講師	諸星 聡美
授業形態・単位数	講義 30 時間 2 単位	開講学年	1 年
評価基準	レポートにより評価する		
目標	① 保育実践に関わる心理学の基礎を習得する。 ② 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。 ③ 子どもが人との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。 ④ 生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性や学習理論について理解し、保育との関連を考察する。		
回	講義内容	方法	
1	保育の場における心理学的視点の必要性について学ぶ (I 基礎編 第 1 章 第 1 節)	講義	
2	発達観を手がかりにしながら、子ども観や保育観について考察を深める (I 基礎編 第 1 章 第 2 節)	講義	
3	胎児期から新生児期にかけての発達とその支援について学ぶ (I 基礎編 第 2 章 第 1 節)	講義	
4	乳幼児期の発達とその支援について学ぶ (I 基礎編 第 2 章 第 2 節)	講義	
5	幼児期の発達とその支援について学ぶ (I 基礎編 第 2 章 第 2 節 2 項)	講義	
6	保育所保育指針における幼児期の発達について理解を深める (保育所保育指針解説書 第 2 章 第 2 節)	講義	
7	学童期から青年期の発達について学び、その発達課題と自己理解を深める (I 基礎編 第 2 章 第 3 節)	講義	
8	成人期から老年期の発達について学び、その発達課題と生涯発達についての理解を深める (I 基礎編 第 2 章 第 4 節)	講義	
9	身体機能と運動発達の基本を学ぶ (I 基礎編 第 3 章 第 1 節)	講義	
10	知覚と認知の発達についてピアジェの認知発達理論をもろに学ぶ (I 基礎編 第 3 章 第 2 節)	講義	
11	感情の発達や自我の芽生えについて学ぶ (I 基礎編 第 3 章 第 3 節)	講義	
12	言語以前の交流の芽生えから言葉の獲得、書き言葉までのコミュニケーションの発達について学ぶ (I 基礎編 第 3 章 第 4 節)	講義	
13	対人関係の基盤である社会的認知の獲得について学ぶ (I 基礎編 第 3 章 第 4 節 2 項)	講義	
14	障害を理解しその支援を考える一助として、発達検査の種類と概要、結果のとらえ方について学ぶ (I 基礎編 第 5 章)	講義	
15	子どもを取り巻く環境とその発達との関係について理解を深める (I 基礎編 第 3 章 第 5 節)	講義	
テキスト・参考書	「生活事例からはじめる 保育の心理学」宮川萬寿美 編著 青踏社 「保育所保育指針解説書」厚生労働省 フレーベル館 2008		